



チャレンジ

高岡市立太田小学校

第4学年 2月号

令和7年1月31日 NO.10

勉強も運動も

4年生の子供たちは、3学期も元気に活動しています。3学期が始まってから、4年生全員が、なわとび大会に向けて、休み時間に短縄や大縄の練習に励んでいます。互いに声をかけ合い、3年生と共に大縄の練習をすることもあります。跳ぶ人に合わせて縄を回すスピードを調整したり、3年生に跳ぶタイミングを教えたり、上級生らしい姿も見られます。1回でも多く跳べるよう、仲間と協力しながら取り組んでほしいと思います。

学習では、1月にはチャレンジテストに合格するために、何度も練習をし、本番に挑みました。なんとなく分かったつもりになってしまいがちですが、しっかりと漢字や計算の能力を身に付けることが、チャレンジテストの目的です。すぐに、3学期の学習のたしかめがあります。毎回の学習や宿題にきちんと取り組み、力を付けていってほしいです。

2月は短く、もう5年生は目前です。高学年に向けて、「自分のことは自分です」「次の日の準備は前日に連絡帳を見てしっかり確認する」「家族の一員として手伝いをする」ということを、子供たちに伝えています。素敵な5年生になれるよう、応援していきたいと思います。また、ご家庭でも、子供たちが自ら考えて動いている場面等を見られたら、大いに褒めてあげてください。

家族愛について考える道徳の学習の振り返りで、「自分の家族は、どんな気持ちで、いろんな世話をしてくれているのか」について考えました。

- 宿題が分からないとき、お母さんがやさしく教えてくれてうれしい。(潤希)
- 漢字や計算が分からないとき、お兄ちゃんやママが教えてくれた。わたしが一人ぼっちでいたら、お兄ちゃんが「いっしょに遊ぼう」と言ってくれて、うれしかった。(柚輝)
- 「元気に学校に通ってほしいな」という気持ちで、学校のお金をはらってくれている。家族全員が、みんなのことを思いながら行動している。私もそんな心がけをもてる人になりたい。(奈生)
- ご飯を作っているときは、「よろこんでくれるかな」とわくわくしている。宿題を見るときは、「かしこくなれるかな」と、どきどきしている。(陽加里)
- 家族があたりまえのようにしてくれるのは、やさしいから。でも、それは、あたりまえではないと分かった。わたしも、これからも、家族を大切に思いながらすごそう思う。(凛花)
- 「明日、元気に、学校や習い事に行ってくれるかな」という気持ちでいる。子供が安心してすごせることを願って、家事をしてくれている。(永眞)
- 子供には、「だれよりも幸せになってほしい」と願っている。でも、「できたらお手伝いもしてほしい」と思っている。(健介)

大縄練習の様子



<自主学习ノート>

